



2020年12月14日

各位

会社名 株式会社ネオジャパン
代表者名 代表取締役社長 齋藤 晶議
(コード: 3921、東証第一部)
問合せ先 専務取締役管理部部长 大坪 慶穂
(TEL. 045-640-5917)

通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年9月10日に公表した2021年1月期の通期連結業績予想および配当予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正について

2021年1月期通期連結業績予想数値の修正(2020年2月1日~2021年1月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	5,331	700	720	500	33.66
今回修正予想(B)	5,331	900	920	638	42.95
増減額(B-A)	—	200	200	138	—
増減率(%)	—	28.6	27.8	27.6	—
(参考)前期連結実績(2020年1月期)	3,742	699	717	495	33.38

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の経済は依然として厳しい状況にあり、感染症の動向も含め先行きの不透明な状況にあります。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響によりリモートワーク等、新たな働き方に資するツールに対する注目が高まっている一方で、上期における営業活動の制約が下期の売上に及ぼす影響などを勘案し、下期の売上について慎重に見ておりましたが、ソフトウェア事業の売上は下期も堅調に推移しております。一方、システム開発サービス事業の売上につきましては、想定していた案件の規模相違により、計画を下回って推移しておりますが、連結全体の売上高は前回公表の連結売上高程度となると見込んでおります。

費用面につきましては、第4四半期に大型のオンラインイベントを開催することとしたことなどにより広告宣伝費の増加が見込まれるものの、ソフトウェア事業、システム開発サービス事業ともに全体的に発生費用が小さくなっていることにより、利益ベースでは前回想定を上回って推移する見込みであります。

また、第3四半期において当社が保有する投資有価証券（1銘柄）について、帳簿価額に比べて実質価額が著しく低下したため、減損処理による投資有価証券評価損105,917千円を特別損失として計上した一方、投資有価証券の売却により投資有価証券売却益31,330千円を計上いたしました。上記予想数値には第4四半期に発生が見込まれる投資有価証券売却益を織り込んでおります。

以上の状況を踏まえ、前回公表の2021年1月期連結業績予想について、上記の通り修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

3. 配当予想の修正について

2021年1月期 配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		7 円 50 銭	7 円 50 銭
今 回 修 正 予 想		10 円 00 銭	10 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (2020 年 1 月 期)	0 円 00 銭	7 円 50 銭	7 円 50 銭

4. 修正の理由

当社は、長期にわたる安定的な経営基盤の確保や将来の事業拡大のために必要な内部留保の充実を図りつつ、配当の安定性・継続性を考慮の上、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針としており、具体的には配当性向20%以上を目標としております。

当期の期末配当金の予想につきましては、上記業績予想の修正を踏まえ、1株につき10円に修正いたします。

以 上